

開催日時：2002年6月6日（木） 13：30～17：00

場 所：ぱ・る・るプラザ京都 5階 Aホール

1 決定事項

論点別ワーキンググループに関して

- ・WGメンバーとして、以下の案（運営会議メンバーにより選定）が提案され、了承された。今後、メンバー全員に就任の承諾を得て、6月から議論を開始することとする。

水需要管理WG：今本委員（リーダー）、荻野委員、川上委員、寺田委員、寺川委員、小尻氏*（京都大学防災研究所）

水位管理 WG：榎屋委員（リーダー）、江頭委員、田中(哲)委員、谷田委員、西野委員、村上委員（* = 委員以外のメンバー）

- ・原則非公開を想定するが、公開 / 非公開の決定は各WGに委ねる。議論の結果等は公表する。また、必要な場合には河川管理者にも議論に参加いただく。
- ・WGの設置に伴い、次回委員会にて流域委員会規約の改定について諮る。

一般意見聴取について

- ・委員会として、現地での意見聴取を行う。具体的な日程、方法、開催地等については、運営会議でまず議論する。
- ・現在募集している「中間とりまとめへの意見募集」について、締め切りを7月末までに延長し、流域の自治体にも呼びかけを行う。

2 審議の概要

各部会からの報告

資料1-1、1-2、1-3を元に、各部会からの報告がなされた。

琵琶湖部会からは、6月4日に行われた丹生ダム上流の現地視察や現地の方々との意見交換が報告された。淀川部会からは河川管理者との意見交換についての進行状況と第15回淀川部会の概要、猪名川部会からはWG設置や委員拡充も検討したい等の報告がなされた。

河川管理者との意見交換

前回委員会に引き続き、資料2-1-1「委員会中間とりまとめに対する河川管理者からの質問(020515)」を元に、質問(22)～(35)について意見交換が行われた。

今後の委員会の活動内容について

- ・資料3-1「シンポジウム開催概要」、資料3-2「今後の活動内容について」、資料3-3「5月～12月の会議日程について」を元に、シンポジウムの概要と今後の活動内容についての説明が行われ、上記1.のとおり決定された。

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者2名、委員傍聴者1名から発言があった。

このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を、発言の詳細については「議事録」を参照下さい。